

会員だより
“久万高原の旅”

萬代 和美

今年、75歳の誕生日に運転免許証を返納しました。

3月末、CTS（JTBグループ）勤務時代の同僚と二人で広島から船を利用し、JR松山駅でバスに乗り、愛媛・久万高原（標高560m）に行きました。

下車時「運転経歴証明書」を提示すると1360円のバス運賃が半額になりました。14時、終点のバス停から20分ほど歩き、巨杉に囲まれた44番札所「大宝寺」巨大なわらじが吊られた仁王門、一礼してくぐりお詣りを済ませました。この寺は以前、雨の中20km余り歩き参拝を終え納経所を訪れた時、「ようお詣り下さった」と住職から掛けられた一声が今なお残り忘れられません。今回は奥様らしき方が座られ、記帳していただきました。

お寺を後にして、山道を登り（標高715m）下り国道に出て、今晚の民宿（標高440m）に18時に到着。コロナ禍で、他の宿泊者はいません。

翌朝、宿を7時30分に出発し歩き、休み、登ること約600m、45番札所岩屋寺（標高670m）到着。「これでこそ 登りかいあり 山桜」65番札所三角寺で小林一茶が詠んだ句を思い出しました。

来た道を引き返さず山道（標高670m）を約2時間歩き国道に出て、昨日降りたバス停近くの「道の駅・天空の郷」をめざし13時到着。今回のハイキング（ミニ遍路）は終了しました。花見と老衰を確認した充実の旅でした。（2日で約20km歩く、標高差320m）



（写真は 大岩盤を背にする岩屋寺本堂）

